

日常生活の困り事などに多言語で対応

連携しながら支援

仕事や日常生活に関する外国人住民の不安解消や生活支援を行うため、8月3日(月)から外国人相談窓口を設置します。相談を受け、担当の部署と連携しながら支援します。

- 受付時間 8時30分～17時15分
- 会場 広聴・相談課
- 対象 市内に住む外国籍の人、日本国籍の外国出身者など
- 料金 無料



多言語翻訳ができるタブレットや多言語のチラシを使って相談に応じます

相談内容結婚や離婚、子育てなど日常生活の困り事や悩み事。健康保険や生活習慣、ごみの捨て方など市内で生活するために必要な情報も提供

■対応言語 英語、日本語、その他言語(フィリピン語、ベトナム語、中国語、韓国語など)については、音声翻訳機を使って対応

■相談方法 電話、ファクス、メール、窓口。予約不要

専門家への相談も

在留資格の申請などの相談に行政書士が対応します。毎月行っていて予約は不要です。詳しくは問い合わせ先に確認を。

年々増え続ける外国人

今年3月31日時点の市の外国人は約4400人で、前年度から約450人増加しています。平成23年度以降8年連続で増えていて、技能実習や留学による、ベトナム、フィリピン、ネパールなどアジア圏からの転入



が多くなっています。平成31年4月に入国に関する法律が改正され、新たな在留資格が創設されたことから、今後もこの傾向が続くことが予想されます。

◎広聴・相談課 ☎0942・30・9096、FAX 0942・30・9711

市ホームページ「広聴・相談課」へ詳しくはQRコード

※近くにお困りの外国人がいたら、教えてください

■「やさしい日本語」によるお知らせ

く り め し ぐ あいこくじん そうだん まどぐち むりょう
久留米市 外国人 相談 窓口 (無料)
 Kurume Multilingual Consultation Support Service (Fee : Free)

いつ? ▶月曜日 から 金曜日 8:30～17:15

どこで? ▶外国人相談窓口:久留米市役所6階 広聴・相談課

相談したいときは ▶次の好きな方法を選んでください

①相談に行く ②電話する ③ファクスする ④メールする

TEL 0942・30・9096
 FAX 0942・30・9711
 E-mail sodan@city.kurume.fukuoka.jp

英語、フィリピン語、ベトナム語、中国語、韓国語は、QRコードから

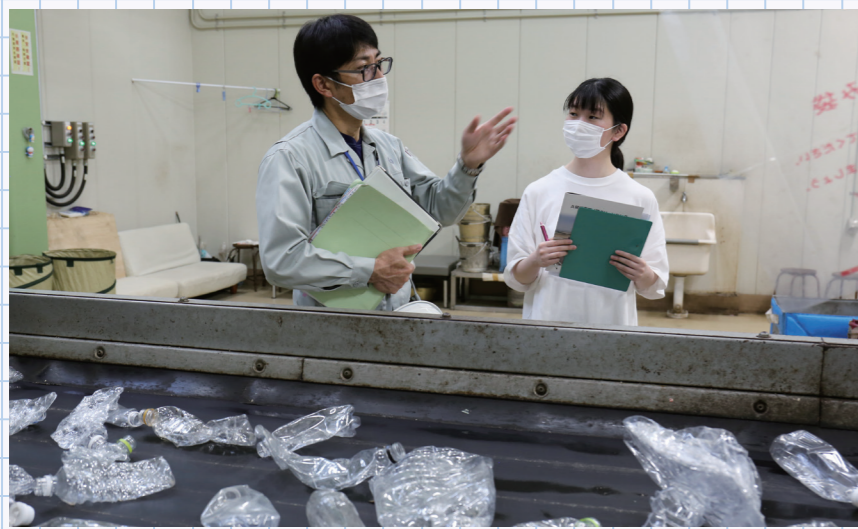
市ホームページ「久留米市外国人相談窓口」へ

詳しくはQRコード

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

52 クリーンセンターの役割とは? 今回の記者:久留米信愛短期大学(2年)中野祐里さん



集積場で回収されたペットボトルは、ベルトコンベアーに乗って手選別室へ。リサイクルできないものはここで取り除きます

「ごみを捨てるために来たことはありますが、中々どんな作業や取り組みをしているのか知りませんでした。そこで、宮ノ陣クリーンセンターの田中元英さんに話を聞きました。



平成28年から稼働する宮ノ陣クリーンセンター

宮ノ陣クリーンセンターはどんな施設ですか

燃やせるごみを焼却する工場棟、ペットボトルや容器包装プラスチックなどの選別を行うリサイクル棟があります。近隣の環境配慮のため、有害物質の排出は厳しい基準を守っています。昨年度は1年間で3万7052tの燃やせるごみが運ばれました。大規模災害時は、他市町村の災害ごみも受け入れ、被災地復旧の手助けも行っています。また、ごみ処理だけでなく、久留米市初の環境啓発施設として、太陽光発電や屋上緑化を備えていて、環境分野全般を学べる環境交流プラザもあります。

環境交流プラザでどんなことができますか
 地球環境や自然環境、ごみ・資源についてゲームやクイズな

啓発のためにどんな取り組みを行っていますか

子どもの頃から資源を大切にすることを大切に思っています。毎年小学校4年生の社会科見学を受け入れていて、分別の大切さを伝えていきます。また、月に1〜2回エコ体験講座を開き、牛乳パックを使ったおもちゃ作りなど、資源を活かす楽しさを知ってもらっています。ごみ処理施設のイメージを変えるために職員がエコプラザズというキャラクターになってイベントに参加し、広報活動も行っています。

いつでも自由に入ることができる足湯



「ごみの焼却だけでなく、環境について楽しみながら学べる施設でした。リサイクルはもろろん大切ですが、今後はごみができるだけ出さないように工夫しようと思えました。」

◎広報戦略課 ☎0942・30・9119、FAX 0942・30・9702

「私たちが身近で簡単にできることはどんなことですか」
 「ごみをできるだけ出さないことが大切です。商品を購入する際は、まず本当に必要なものかを考えてください。マイバッグを持参して包装を簡素化したり、洗剤やシャンプーは詰め替えて容器を再利用したりしましょう。再利用できないものはリサイクルに。ペットボトル5本をリサイクルすると、作業着1枚に生まれ変わります。」